



テーマ：インクルーシブな子ども広場の方向性を考えよう！ 令和6年11月9日（土）

前回のワークショップで話し合った計画地の利用イメージをもとに、事例写真などを見ながらインクルーシブな子ども広場の方向性を考えました。また、今津運動公園を実際に歩きながらリニューアルイメージを膨らませながら、どのような施設の配置や移動経路がよいか、楽しく話し合いました。

前回の振り返り、事例紹介

前回の振り返りを行った後は、前回寄せられた「新しくなるインクルーシブな子ども広場でどのように過ごしたいか」についてのみなさんのアイデアに関するイメージを、全国のインクルーシブな子ども広場の先進事例や遊び場の様子から紹介しました。



事例①：
砧公園（東京都）



- ・ユニバーサルデザインに関する障がい当事者や有識者等の意見を参考にしながら、遊具をユニバーサル対応に更新

事例②：
明治公園（東京都）



- ・円形のデザインが特徴で、周囲にはベンチも配置し、子どもたちが遊んでいる姿を見守ることができる

事例③：
ほのぼの広場（春日市）



- ・みんなで一緒に遊べる幅が広い滑り台や、ざる型のブランコがある
- ・夏の期間はポップアップ噴水で水遊びができる

事例④：
蒲田いこいの広場（福岡市）



- ・ユニバーサル対応の遊具広場や芝生広場、花見広場、健康広場などがある
- ・手押しポンプを使った水遊びができる

ワークショップ全体の流れと当日のプログラム

■ワークショップ全体の流れ

第1回

今津・今津運動公園を
知ろう！

令和6年10月12日（土）
10:00～12:00

「インクルーシブなこども広場」ってなに？「今津・今津運動公園」はどんなところ？をお話ししました。みなさんの「こんな空間になったら」「こんな場所があれば」を出し合って意見をまとめました。



第2回

インクルーシブな子ども
広場の方向性を考えよう！

令和6年11月9日（土）
10:00～12:00

前回話し合った「こんな空間」「こんな場所」について事例写真を見ながら話し合いました。その上で公園を歩き、そこでの「過ごし方」「楽しみ方」などを話し合いました。



第3回

今津運動公園の将来を
描こう！

令和6年12月14日（土）
10:00～12:00

「今津運動公園」をみんなが「行きたい」「使いたい」などにするためには、どうしたらいいのか、みなさんの意見を元に作られた整備案を見ながらどういう活動ができるのかをみなさんで話し合いました。



■当日（11/9）のプログラム

- 10:00 はじめに
- 10:05 前回の振り返り・事例紹介
- 10:15 情報提供：公園利用の仮想事例
- 10:20 自己紹介
- ワーク① ——
- 10:25 フィールドワーク
- 11:05 〈休憩〉
- ワーク② ——
- 11:10 ゾーニング検討・意見交換
- 11:45 まとめ・閉会あいさつ
- 12:00 〈解散〉



ワークショップの意見交換のようす

障がいのある子どもたちの公園利用の仮想事例

誰もが自分らしく利用できる公園をイメージするため、インクルーシブふくおか 上角氏に、様々な特性のある子どもの公園での過ごし方について、希少障がいの親の会より出された意見をもとに、「年齢/障がいの種別/考慮してほしいこと」に分けて紹介いただきました。

公園利用の仮想事例（一部抜粋）

6歳/肢体不自由（車いす） ・友達と同じように遊具で遊びたいです ・足が不自由なことをのぞけば、みんなと同じように遊べます	4歳/ADHD 多動 ・元気な子で走り回ります ・言葉で伝えることが苦手で、お友達を押したりして迷惑をかけるかもしれません	9歳/ダウン症（知的+自閉症） ・滑り台やジャングルジム、水遊びが大好きです ・お風呂で蛇口から出てくるお湯で30分以上楽しめます	4歳/視覚障害 ・目が見えません、音や手ざわりなどでいろいろ楽しめます	4歳/肢体不自由（全身まひ・酸素ボンベ装着） ・外の景色をみたり、お友達が遊んでる様子を見たり、新鮮な体験をさせてあげたいです
---	---	---	--	--



インクルーシブふくおか 上角氏

※インクルーシブ：性別・人種・民族・国籍・出身地・社会的地位・障がいの有無により排除されることなく包括・包含している様

フィールドワーク

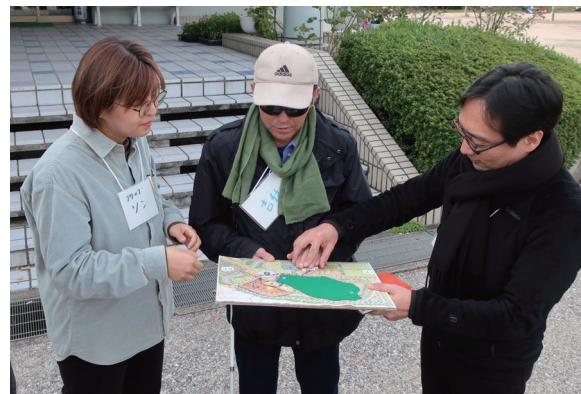
参加者のみなさんと、外に飛び出して、芝生広場や遠くに見える毘沙門山など、豊かな自然環境を肌で感じながら現地をめぐりました。当日の今津運動公園は、芝生広場では学生がボール遊びをしたり、計画対象地のちびっこ広場では小さなお子さんと保護者のみなさんが遊んでいたりと、とても賑わっていました。



ふかふかした芝生を歩くのは気持ちが良いですね。



視覚障がいのある方が公園内を安心して、分かりやすく移動できるように誘導することが大切です。



視覚障がいのある方に触知図を使って公園の広さや現在位置を伝えました。子どもから大人の目線までの高さのある木がしげっている場所は見通しが悪く、安全性の確保が大事ですね。

動物のオブジェは、子どもが触れることができる目線にあるので、とても良いと思います。



木陰では鳥の音が聞こえますね。



現地を見て周った後、前回のワークショップで出た「利用シーンのイメージ」についてや、現地を歩いて感じたことをみなさんに発表していただき、「今津運動公園で大切にしたいことは何か」を共有しました。

利用シーンのイメージ

くつろぐ・休む 暑い日も影のある場所で快適に過ごせる 幅の広いベンチでゆっくり休める 今津の山などの景色を眺めながらお話しができる 園内を散策しながら、軽く腰掛け、休める場所がたくさんある	あそぶ とんだり、はねたりしながら大人数でわいわい遊べる お友達と一緒に、ゆれたり、すべったりして遊べる 水遊びができる（噴水遊び） 水遊びができる（手押しポンプ）	自然にふれる 自然素材に触れながら遊べる 今津で取った松ぼっくりなどを使ったクラフト体験ができる 砂や土の香り、木の感触などに触れ、五感を使った遊びができる 四季の草花などにより、季節を感じながら散策できる	めぐりあるく 安全かつスムーズに目的地までたどり着くことができる 自然の中をバリアフリーで歩ける 回遊性がまちに広がり、今津の良い風景に出会える 今津を知ることができるわかりやすいサインがある
---	---	--	---

「今津運動公園で大切にしたいこと」

- ・座る場所がどこなのか、分かりやすいベンチがある
- ・日陰が大切、夏でも来れるような場所
- ・保護者が安心して子どもを見守れるスペース
- ・発達障がい者のある子どもが落ち着ける場所が必要
- ・のんびり過ごせる拠点となるようにしたい
- ・自然の良さを活かす
- ・虫のホテルのように生き物を大切にする
- ・木の根っこの凸凹も楽しみ方によって活かしてもいい
- ・どんぐりや松ぼっくりなどの素材を活かした遊び方
- ・ちびっこ広場の遊具はそのままでもいいのでは
- ・ゴムチップ舗装が自然いっぱいの今津に合うのか？
- ・一人遊びが好きな子にとっても芝生広場はよい
- ・近くに海があることが分かるようなサインがあるとよい
- ・車イスやベビーカーでも移動しやすい動線が必要
- ・ソフト面（ガイドツアー・交流イベントなど）の充実

意見交換・アイデア

ワーク2では、みどり豊かな今の空間を活かしつつ、インクルーシブな空間にするには何をどう変えていけばよいかについて、計画対象地の現在のゾーニングに対して3つのゾーニング案をもとに、活発に意見交換をしました。

■ 3つのゾーニング案

A案

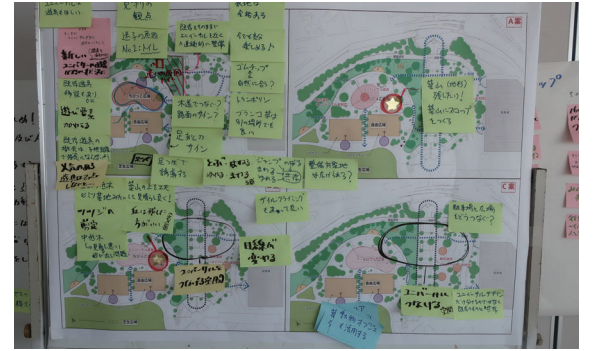
今の遊具を生かし、周りにユニバーサルデザイン対応の遊び場を配置

B案

今の遊具を対象地外に移設し、築山も含めてユニバーサルデザイン対応の遊び場を配置

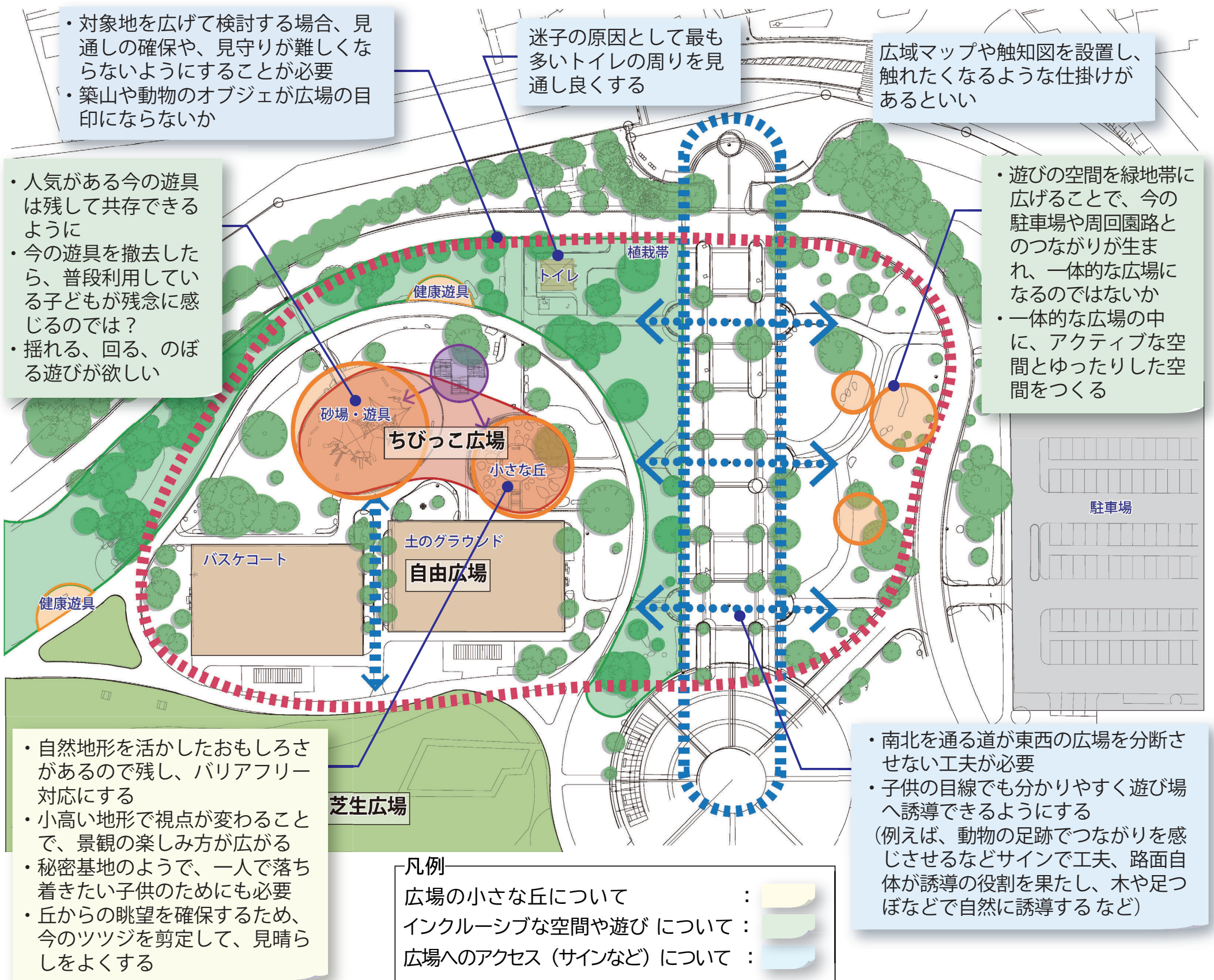
C案

今の遊具を対象地外に移設し、全面にユニバーサルデザイン対応の遊び場を配置



みなさんのアイデアを貼ったボード

築山も含め、ちびっこ広場をできるだけそのまま活かす意見が多く、ユニバーサルデザインによる遊びを準備する代替りの場所として、駐車場からのつながりもある緑地帯を対象地候補としてはどうかなどの、様々な意見が出ました。



■ 意見の方向性のまとめ

今の自然や遊びの良い要素を十分に活かす

- ・築山などの地形をバリアフリーで楽しめる工夫
- ・今の遊具を残しながら、ユニバーサルデザインの遊びを取り入れ、障がいのある子どもない子どもと一緒に楽しめる空間づくり

周辺エリアとのつながりや回遊性の強化

- ・対象地を拡大して、回遊性のある一体的な遊び場
- ・安心・安全に移動できる空間づくり

居心地よく快適に過ごせ、公園に行きたくなる工夫

- ・快適に過ごすための日陰や水遊びなど、涼しく過ごせる場所の確保
- ・子どもを見守ったり、荷物を置いたりできる、ベンチなどの休める場所の確保

次回はこの方向性をもとにまとめた計画案をお持ちします！

まとめ、講評



株式会社ランドスケープむら 徳永氏

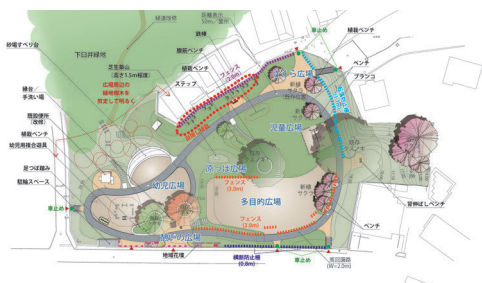
「本日の話し合いを通じて、**地形の活用**（今の自然や地形を活かす）、**近づきやすさ**（動線を分かりやすくして駐車場やセンター施設からのアクセスを容易にする）、**快適な環境**（緑陰や日陰の確保）が重要だと感じました。次回のワークショップでは、これらを踏まえたリニューアル案をお持ちしますので、海や山、地域とのつながり、インクルーシブとは何か？を踏まえる、公園内の施設との連携、などの目線で確認していただければと思います。」



インクルーシブふくおか 上角氏

「今まで様々なワークショップに参加したことがありますが、今回本当に質の高い議論ができました。これからもっといい公園になると期待しています。水遊びができる場所があればいいと思います。福岡市内で水遊びができる所があまり多くないので実現できればいいと思います。」

次回は、これまでのみなさんの意見をまとめたリニューアル案をお持ちします！
具体的な遊び場について、図面やイメージパースなどを使って話し合いますので、ぜひお子さまと一緒に
お越しください！



リニューアル案の図面やスケッチのイメージ

■ワークショップのようす



次回のお知らせ

第3回

令和6年

10:00~

12:00

12/14土

「今津運動公園の将来を描こう！」

場所：今津運動公園 管理事務所

●お申し込み方法 以下のいずれかでお申込みください

①QRコード

QRコードより参加申し込みができます。



②Eメール

①氏名 ②人数 ③ご連絡先（メールまたは電話）
④配慮が必要な事項（介助、子どもの見守りなど）
を入力して、下記連絡先へお送りください。

✉ MAIL: kai.k07@city.fukuoka.lg.jp

③お電話／ファックス

TEL: 092-711-4410

FAX: 092-733-5590

当日のご参加
もOKです！

介助が必要な方も、お子さま連れも、大歓迎！

※ 安心してご参加いただけるよう見守りスタッフを配置します
※ お手伝いが必要な方は、事前にその旨お知らせください

アンケートのお願い

ワークショップにご参加いただけない方でも、ぜひ新しくなる今津運動公園の子ども広場についてのご意見をお聞かせください！
QRコードにアクセスして簡単な質問にお答えください。（所要時間3分程度）
これからの公園づくりのアイデアとして検討させていただきます！



[担当・お問い合わせ]

福岡市住宅都市局公園部整備課 甲斐・中川

TEL: 092-711-4410 MAIL: kai.k07@city.fukuoka.lg.jp